

# 地域の方と共に歩む東邦運輸

## 「この街」のために「走る」、それが東邦運輸の哲学

「運送会社と地域」はあまり関係がないもののように思われがちです。それどころか険悪な関係である場合もしばしば。トラックは騒音をまきちらし、砂埃をあげて道路を我が物顔で走るもの。危険だし迷惑……近所の運送会社にそんな感情を抱いている人は少なくないでしょう。一方、運送会社のほうも「この街」に客などいない、とばかりに、地元のことなど一顧だにしないことがほとんどでした。

しかし、当社の創業者、故・中島昭美は違いました。

彼は会社設立当時から、こんな経営哲学を標榜していたのです。

いわく「企業は、地域に愛され必要とされなければ、存在価値がない」。

私たち東邦運輸は、創業者のこの哲学を大切に、さまざまなシーンで「この街」に役立ちたいと願い、「この街」と喜びを分かち合おうと考えて、さまざまな活動を展開してきました。本コーナーでは、その一端を振り返ります。



### 1970年 引越のお仕事

写真：当時の滝山団地  
(東久留米市郷土資料室所蔵写真)

団地の5階までの階段を行ったり来たり  
……会長は当時のスタッフと市内の  
団地からピアノを搬出したそうだよ!



### 1972年 食品運搬のお仕事

写真：三恵倉庫



最終的には地域のスーパーに並ぶ  
商品ということで……  
途切れさせまいと積めるだけ積んだビー!



### 1986年 学校給食配送のお仕事

写真：東久留米市給食車

将来を担う子供たちの口に入るものなので、  
日頃の洗車の徹底はもちろん、  
後に抗菌パネル・抗菌脱臭機能取付車両を  
多摩地区として初めて導入したんだ!





## 1987年 家財をお預かりするお仕事

写真：コンテナ

引越の現場経験から収納スペースのニーズを見出して、新しいサービスに着手!



## 2001年 一般家庭ごみ回収のお仕事

写真：清掃車によるごみ回収



学校給食配送の実績もあり、より多くの市民の方と接する仕事をまかせていただけることになったんだビー!



## 2004年 救援物資のお仕事

写真：救援物資の積み込み作業

東久留米市様から要請を受け、この年発生した新潟県中越地震の被災地へ!



## 2018年 保育のお仕事

写真：BunBun保育園

地域の働くお父さん、お母さんのために、東久留米市内で初めて「企業主導型保育事業」を展開しました!



## 2018年 フードロス食品を運ぶお仕事

写真：産官学連携締結式

販売期限が切れてもまだ口にできる食品をイトーヨーカドー東久留米店様から地域の児童館に運び、食育活動に貢献ビー!



ほかにも「東久留米市社会福祉協議会」様から事務所移転のお仕事をいただいたり、毎年秋に開かれる「東久留米市の防災訓練」に必ず参加して、東邦運輸のトラックをより身近な存在としてPRしているんだビー!

さらに、バス停やバスのアナウンスに「東邦運輸」の名前を入れたり、社名を市のラジオ局「FMひがしくるめ」の番組にも参加させていただいて、従業員の何名かはラジオパーソナリティとしてデビューを果たしたビー!

これからも地域の方に愛され、必要とされる企業を目指していきましょう!